



身近なテーマから最新の免疫学研究をご紹介

大阪大学 いちよう祭 一般向け公開イベント

サイエンスカフェ・オンザエッジ @ 微研ホール

2018
4/30

(月・祝)

2:00pm - 3:30pm
(開場 1:30pm)

“てんかんや 発達の遅れの原因となる 新しい病気の発見”

サイエンスカフェ形式で、研究者が免疫学の基礎から最新研究まで
わかりやすく解説します。

今回のテーマは「てんかんや発達の遅れの原因となる新しい病気の発見」
です。お気軽に参加ください。

- ゲスト：村上良子さんむらかみ よしこ (微生物病研究所 寄附研究部門教授)
聞き手：渡部祐司 (免疫学フロンティア研究センター企画室)
場 所：大阪大学吹田キャンパス 微生物病研究所 本館 1F 微研ホール
主 催：大阪大学 微生物病研究所
大阪大学 免疫学フロンティア研究センター (IFReC)
協 力：大阪大学 21 世紀懐徳堂

※事前登録不要 / 参加費無料
定員 40 名 (先着順)

サイエンスカフェ・オンザエッジ @ 微研ホール

” てんかんや発達の遅れの原因となる新しい病気の発見 ”

てんかんは脳の神経細胞の様々な異常で発作を繰り返す病気です。

最近、種々のタンパク質を細胞の表面につなぎ止める役目をするGPIアンカーという糖脂質の異常で起こる新しい病気、先天性GPI欠損症 (IGD) が見つかりました。この5、6年の間に国内で約30人、海外を合わせると約200人の患者さんが見つかりました。ちょっと複雑かもしれないけど、GPIアンカーの基礎研究のこと、皆さんに知ってもらいたい病気IGDのこと、治療法開発に向けての私たちの試みについてお話しします。

ゲスト

村上良子さん (大阪大学 微生物病研究所 寄附研究部門教授)



プロフィール

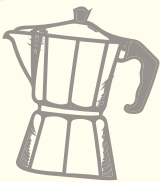
大阪大学医学部卒業後、小児科医として10年間勤務
2001年 大阪大学微生物病研究所にて医学博士取得
2005年 同 助手
2009年 同 准教授
2017年 同 藪本難病解明寄附研究部門教授

2018
4/30
(月・祝)
2:00pm - 3:30pm
(開場 1:30pm)



身近なテーマから最新の免疫学研究をご紹介

サイエンスカフェとは、カフェのようなリラックスした空間で、科学の専門家と市民とが科学について気軽に語り合うイベントです。サイエンスカフェ・オンザエッジでは、IFReC や関連研究分野の研究者を話題提供者 (ゲスト) に招き、最先端の免疫研究を皆様に紹介しています。



【場所】

大阪大学 吹田キャンパス
微生物病研究所 本館1階 微研ホール
(大阪府吹田市山田丘3-1)

【アクセス】

- モノレール「阪大病院前」から徒歩20分
- 阪急バス・近鉄バス「阪大本部前」から徒歩12分
- 阪急北千里線「北千里」から徒歩12分



【お問合せ】

大阪大学 吹田キャンパス 微生物病研究所 広報室
TEL: 06-6879-8357 FAX: 06-6879-8360
Email: biken-pr@biken.osaka-u.ac.jp



RIMD
Research Institute for
Microbial Diseases
大阪大学微生物病研究所



WPI Osaka University